

蟲リスト

蟲の投与と維持

蟲を投与・維持するためには〈蟲術〉技能が必要です。また、投与の際には[投与コスト]分の[気合]を支払わなければなりません。投与は、[幕間]の最初に行ない、支払った[気合]は、即座に[業]に加算されます。

蟲リスト

いたみむし 伊丹蟲

投与コスト:15

効果:[活力]を[[体力]×2+[心力]]で計算する

寄生部位:神経

神経組織に寄生し、痛覚を破壊する蟲です。宿主は痛みを感じることができなくなる代わりに、[活力]を[[体力]+[心力]]ではなく[[体力]×2+[心力]]で算出できます。つまり、[活力]に[体力]を加えるということです。

餌:不要

きゅうかんちゅう 九官蟲

投与コスト:10

効果:一度聞いた音を再現する

寄生部位:喉

喉に寄生する蟲。

一度聞いた音や声を正確に再現します。他人の声で喋ることなどが可能で、これを見抜こうとする場合、〈観察〉による[難易度]3の判定に成功する必要があります。餌:宿主の食事から栄養を得ます。ただし、熱いものや辛いものを食べると、その刺激で死んでしまうので注意が必要です

さいせいちゅう 再生蟲

投与コスト:強度1につき5

効果:再生ポイント1ポイントにつき負傷ゲージひとつを回復する。再生ポイントは強度ごとに5ポイント

寄生部位:全身

自分の巣である人体を守るために、傷を塞いでくれる蟲です。再生ポイントを1ポイント消費することで、負傷ゲージを一つ回復することができます。ただし、死亡ゲージを癒すことはできません。再生ポイントは強度ごとに5ポイントです。

再生ポイントの消費と負傷ゲージの回復は、戦闘時などラウンドで区切られている場合は、インターアクションで行ないます。

他人の傷を癒すことも可能です。

餌:腐りかけた肉にわくある種の蟲を一週間に一度以上は食べる必要があります。食べなかった場合は、1日につき1ポイントずつ再生ポイントが減っていくことになります

がそうちゅう 牙爪蟲

投与コスト:強度1につき3

効果:本文参照

寄生部位:四肢もしくは任意の部位

危険を感知すると硬化する蟲。四肢に寄生させて武器として用います。

武器としてのデータは次の通り。

武器名 武器修正 射率 射程 装填数

牙爪蟲 +強度 — — —

牙爪蟲による攻撃は[体力]〈蟲術〉で命中判定を行ないます。〈蟲術〉の段階によって特殊な攻撃できるようになります。

初級:

【体力】〈蟲術〉で[突き返し]が行なえます

中級:

初級の効果に加えて、対象への最初の攻撃は不意打ち扱いとなります

上級:

中級の効果に加えて、[感覚]〈蟲術〉で射撃攻撃が行なえます*

射程:[体力]m 射率:強度 装填数:1

特級:

上級の効果に加えて、武器修正が強度の2倍になります

*射出した牙爪蟲は、射出した先まで移動した上で1行動を消費して回収するまで使用できません

餌:宿主もしくは動物の血液。一週間に400ml程度必要です

はねむし 甲蟲

投与コスト:強度1につき2

効果:強度ごとに[活力]を+1

寄生部位:全身

体内に巣を作る蟲。堅固な糸で作られた巣が、鎧の役目を果たし、強度1につき[活力]に+1します。

また、甲蟲の糸は、大人をふたりぶん下げるくらい強度がありながら、縫物に使えるほどしなやかな糸であり、かつ気の伝導率に優れるため、気の扱いになれた者なら自在に動かすことができます。そのため、〈兵法:練氣術〉を〈白兵戦闘〉の代わりとして命中判定を行なうことができるのです。

武器名 武器修正 射率 射程

甲蟲の糸 +2 — 強度m

餌:新鮮な野菜や果物。1日に一度は、野菜を食べる必要があります。また、卵の成長を押さえるために、1週間に一度以上は、カブスと呼ばれる秘伝の漬物を食べる必要があります。1ヶ月以上食べなかった場合、甲蟲が羽化して宿主は死亡します

こうけつせんちゅう 鋼化結線蟲

投与コスト:強度1につき8

効果:[敏捷]を強度分上昇させる

寄生部位:神経

神経伝達速度を加速し、常人離れた素早さをもたらす蟲。

鋼化結線蟲は、ケシの実の粉末を鼻腔から吸い込む(この行為はハーフアクションとする)ことで覚醒します。覚醒後、[体力]ラウンド経過すると、強度と同じダメージを強度と同じラウンドのあいだ、宿主に与えます。毒によるダメージを受けているあいだは、鋼化結線蟲の再起動は不可能です。なお、鋼化結線蟲の効果は、純粹に毒の効果(蟲の強度)であり、再寄生を行なっても強度は単純には上昇せず、寄生しているなかでもっとも強度の高い鋼化結線蟲の効果だけが発揮されます。覚醒はしてしまうので、毒のダメージは合計してください。

餌:不要

しんかんちゅう 心眼蟲

投与コスト:強度1につき10

効果:[感覚]を強度分上昇させる

寄生部位:額や指先など

心眼蟲は宿主の視神経に結線し、自分の見た風景を宿主にも見せることができます。視界の切り替えは、宿主の任意で行なうことができます。投与されてからこの結線と視界の切り替えに慣れるまで、1週間ほど必要です。

餌:不要

